

令和元事業年度

決算報告書

第16期

自：平成31年4月 1日

至：令和 2年3月31日

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

令和元年度 決算報告書

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	6,220	6,196	△ 24	(注1)
施設整備費補助金	—	32	32	(注2)
補助金等収入	437	282	△ 154	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	21	21	—	
自己収入	691	667	△ 23	
授業料、入学金及び検定料収入	549	532	△ 16	
雑収入	141	134	△ 7	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,741	1,779	38	
目的積立金取崩	163	166	2	
計	9,274	9,145	△ 128	
支出				
業務費	6,522	5,829	△ 693	
教育研究経費	6,522	5,829	△ 693	(注4)
施設整備費	21	53	32	(注5)
うち空調設備のライフライン再生	—	32	32	
補助金等	437	282	△ 154	(注6)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,741	1,634	△ 106	(注7)
長期借入金償還金	553	553	△ 0	
計	9,274	8,352	△ 922	
収入-支出	—	793	793	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因経費(年俸制導入促進費)が22百万円交付されたこと、また運営費交付金に計上した債務繰越分が予算段階の金額よりも46百万円少額であったことにより、予算金額に比して決算金額が24百万円少額となっております。

(注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった令和元年度施設整備費補助金が交付されたことにより、予算金額に比して決算金額が32百万円多額となっております。

(注3) 補助金等収入については、予算段階の金額よりも受入額が少額であったことにより、予算金額に比して決算金額が154百万円少額となっております。

(注4) 教育研究経費については、主として経費の節減により、予算金額に比して決算金額が697百万円少額となっております。

(注5) (注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が32百万円多額となっております。

(注6) (注3)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が154百万円少額となっております。

(注7) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託研究費等の支出が予算段階での計画額を下回ったことが主たる要因となり、予算金額に比して決算金額が106百万円少額となっております。